

農業用使用済みプラスチック中間処理作業等委託業務プロポーザル審査要領

この要領は、(公社)茨城県農林振興公社(以下「公社」という。)が設置する農業用使用済みプラスチック中間処理作業等委託業務プロポーザル審査委員会(以下「審査委員会」という。)において、参加者提案を客観的に評価し優先交渉権者等を適正に選定するための基本的な手順、方法等を示すものです。

1 優先交渉権者等選定の手順

選定は次の手順で行います。

- (1) プロポーザル参加意思表明者提案書等の配布
- (2) 公社担当部署による資格審査及び事前評価
- (3) 審査委員によるプレゼンテーション審査及び評価
- (4) 審査委員会による優先交渉権者等の選定

2 参加意思表明者提案書等の配布

プロポーザル参加意思表明者は、当該公募に係る説明書に基づき、プロポーザルの提出書類(資格要件に関する書類を含む)を令和8年2月5日までに公社担当部署に提出します。公社担当部署は、このうち提案書等を審査委員に配布し事前評価を依頼します。

3 公社担当部署による資格審査及び事前評価

公社担当部署は、2の提出書類を受け次の事項について事前に審査、評価を行います。

(1) 資格審査

申立書等により公募説明書に示す資格要件をすべて満たしていることを確認します。資格要件を満たしていない参加意思表明者は失格とします。

(2) 提案書の一部評価

機械的に評価が可能な「見積価格」「業務実績」の評価項目について、事前評価し別紙「プロポーザル評価記入表」に記入しプレゼンテーション審査時に審査委員に配布します。

4 審査委員によるプレゼンテーション審査及び評価

審査委員は、次により書類による事前審査とプレゼンテーション審査を行い、見積価格と提案内容審査の総合評価を行います。

審査の評価項目、評価基準及び配点については表1の通りとします。審査委員は次により評価し、別紙「プロポーザル評価記入表」にその評価を「加減点数」又は「5段階評価」として記載します。

(1) 見積価格審査

3の公社担当部署による事前評価点を点検し必要があれば加減したうえで評価点を付与します。その際、見積書の金額が公募に係る説明書に記載した提案限度額を超える場合は協議し相応の減点を行います。

(2) 提案内容審査

審査委員は、企画提案書に加え参加者によるプレゼンテーションを聴取し評価します。このうち「業務実績」に関する評価点については、3の事務局による事前評価を点検し必要な場合はこれを加減し評価点を付与します。これ以外の評価項目の評価点については、表2の配点細目ごとに5段階評価を行い、得点率を乗じて評価点とします。これらを合計し提案内容審査の評価点とします（小数点以下は第2位を四捨五入）。

(3) 総合評価点の算定

総合評価点は、評価項目ごとの評価点の合計とします。

5 審査委員会による優先交渉権者等の選定

優先交渉権者等の選定方法については、審査委員各自の判断により決定した評価点について、全審査委員の評価点を平均します。その評価結果をもとに審査委員会で審議し優先交渉権者等を選定します。公社理事長は、その選定結果を踏まえ優先交渉権者等を決定します。

6 その他

優先交渉権者等決定後は、公社が優先交渉権者等と提案内容を踏まえて仕様書を協議し必要に応じ修正します。併せて、契約内容について協議します。合意できない場合は次点交渉権者と協議します。協議により合意が得られた時点で見積書を徵し契約締結します。

附則

この要領の施行期間は審査委員会の設置の間とします。

表1 評価項目、評価基準及び配点

事項	No	評価項目	審査対象 ・根拠	評価基準	配点	
見積 価格 審査	—	見積価格	提案書 見積額	作業受委託見積額は提案金額の低い順に 1位 20点、2位 15点、3位以下 10点 中間処理製品買取見積額は提案金額の高い順に 1位 20点、2位 15点、3位以下 10点	20 20	
提案 内容 審査	1	業務実績	実績報告書 及び提案書	過去5年間のビニールグラッシュ製造量実績と認証取得 製造量 1,000t以上/5年 エコアクション21認証の有無 優良産廃処理業者認定の有無 ISO14001認証の有無	15	
	2	着実に 処理できる 業務体制		実施方針 実施体制 品質確保 効率化	委託目的との整合性、その提案の明確性 環境・労働関係法令の遵守とその提案の 明確性 必要な組織体制の整備（作業、事務、労務） 必要な人員の配置（作業所別、時間・日別） 非常時におけるバックアップ体制 高品質グラッシュ生産技術の有無又は習得の方法 同技術者の配置及び品質確保の方法 生産性向上の方策と不良原料（劣化、色付等）の 処理方針、再生等コスト削減策の合理性・実現性	8
	3	機械施設の 管理	提案書・ プレゼンテーション	保守管理 と持続的 安定運転	処理プラントの保守管理の方法、時期等安定 運転対策の合理性と確実性 排水処理施設、ストックヤード・洗浄残土 乾燥場の適正な管理等	8
	4	リスク管理		災害時の 対応策と 備え	早期復旧のための備えや対処の合理性	
	5	販売方法		販売力と その確実性、 発展性	労働災害の対応策の整備 火災（火災・地震・風水害）対策マニュアルの整備 火災等災害対応の訓練実施	3
	6	社会・ 地域貢献	提案書	販売契約書の有無等又は実需者への販売計画内容の 実現性	事業継続可能な販売価格水準の確保の可能性	20
	7	独自提案		社会貢献活動の実績、計画 地元企業の活用及び地元農ビ等収集活動への協力計画	独自提案の必要性・合理性・実現性	2
					計	100

表2 5段階評価の内容と得点率

評価	評価内容	得点率
a	確実かつ優れている	配点×100%
b	かなり期待できる	配点×75%
c	有効である	配点×50%
d	発注仕様を満たせる程度	配点×25%
e	発注仕様を満たせるか不安	配点×0%